高大接続改革に向けた工程表

資料４－２

26年度 ／ 27年度 ／ 28年度 ／ 29年度 ／ 30年度 ／ 31年度 ／ 32年度～

各大学の個別選抜改革

法令改正

- 中教審における審議
- 三つのポリシーを義務付ける
  ※ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝ・ﾎﾟﾘｼｰ、ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ、ｶﾘｷｭﾗﾑ・ﾎﾟﾘｼｰ
- 認証評価の評価項目に入学者選抜を明記
- ※ 法令改正にあわせて、関係機関・団体と連携して大学入学者選抜に対する評価や情報公開の充実に取り組む

大学入学者選抜実施要項見直し

- 中教審答申の提言に基づき28年度大学入学者選抜実施要項から順次反映

アドミッションポリシー明確化

- 事例集の作成・提供
- ガイドラインの作成・提供
- 各大学におけるアドミッション・ポリシーの明確化

財政措置

- 個別選抜改革を先行して行う大学への取組を推進するとともに、財政措置の在り方を検討し、27年夏を目途に具体策を取りまとめ

大学入学希望者学力評価テスト（仮）／高等学校基礎学力テスト（仮）

実施内容

- 専門家会議における検討
  ※ 対象教科・科目、「教科型」・「合教科・科目型」「総合型」等の枠組み、問題蓄積、記述式導入方法、CBT導入方法、成績表示の在り方等
- 「新テストの実施方針」の検討
  ※出題内容・範囲、プレテスト内容、正式実施までのスケジュール等
- 策定・公表
- 「実施大綱」の検討（新テストの具体的内容）
  ※高等学校基礎学力テスト（仮称）
- プレテスト準備・実施、成果や課題を把握・分析
- 「実施大綱」の検討（新テストの具体的内容）
  ※大学入学希望者学力評価テスト（仮称）
- 策定・公表
- 高等学校基礎学力テスト（仮称）導入
- 大学入学希望者学力評価テスト（仮称）導入
  36年度から新学習指導要領に対応

実施主体

- 新テストの実施主体の機能や在り方について検討
- 新テストの実施主体の設置に必要な法令改正等
- 実施主体設立・運営

高等学校教育の改革

学習・指導方法の充実

- 課題の発見と解決に向けた生徒の主体的・協働的な学習・指導方法の充実に必要な方策について検討。既存の取組も含め、平成27年度以降順次実施

教員の資質能力向上

- 教員養成・採用・研修について、中教審教員養成部会において検討
- 中教審の審議結果を踏まえた制度改正
- 制度改正に基づく教員の養成・採用・研修の充実

多様な学習活動・学習成果の評価

- 専門家会議における検討
  ※調査書の様式見直し、出願時提出資料の共通様式の策定等
- 調査書及び指導要録の改訂

学習指導要領の見直し

- 諮問 → 答申 → 告示
- 周知・徹底
- 教科書作成・検定・採択・供給
- 34年度年次進行実施

※ 学習指導要領改訂に係る上記スケジュールは、高等学校の過去の改訂スケジュールに基づくイメージである。

大学教育の改革

大学教育の質的転換

- 中教審における審議
- 三つのポリシーを義務付ける
  ※ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝ・ﾎﾟﾘｼｰ、ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ、ｶﾘｷｭﾗﾑ・ﾎﾟﾘｼｰ
- SDの義務化をはじめとする学長を補佐する体制の充実を図る
- 各大学における教育の質的転換

学生の学修成果の把握・評価推進

- 中教審における審議
- 認証評価制度において学修成果や内部質保証の評価の規定創設
- 学修成果や内部質保証（各大学における成果把握と改善の取組）に関する評価の推進

大学への編入学等の推進

- 高等学校専攻科修了生の大学への編入学の制度化
- 募集単位の大くくり化、入学後の進路変更、学び直しのための環境整備を推進
- 各大学における編入学の推進、生涯を通じて学修に取り組める環境の整備